



選手を囲んで

選手「合宿や笑うこと も楽しい」

【保護者】仲間意識や技術の向上のために合宿もしています。大会に出場するのも参加費が必要です。他の団でも育成会の活動収益でやりくりをしています。が、きびしいです。

本町で、「だいせんカップジュニアバレーボール大会」を開催されていますね。

【保護者】今年で6回となります。兵庫・広島・岡山・島根県などから約25チームが大山町に集います。事務の全般は監督がしますが、会場設営を保護者がしています。

バレーボールの楽しさは何ですか。

【選手】試合に出られること

です。

【選手】合宿が楽しみです。みんなでお寝ることも楽しいです。

【選手】練習をすること、みんなでお笑うことです。

【選手】試合で得点が入ると、ワンセットを取ることで

【選手】サーブが入ることで

【監督】練習で泣いている子どももいます。それを乗り越えることができるから楽しいと思いますね。

監督がかわいときは試合のときですが、練習のときですか。

【選手】どちらもおかしいです。

【監督】3年生にはきびしくないけど、4年生にはきびしいかな。どこかでそれを越えていかないといけないと思います。競争もしないといけないし、競争に負けても敵ではないと思います。勝てるようにも指導をするからこわく感じるのかな。

バレーボールをしてよかったことは何ですか。

【選手】からだが強くなりました。

【選手】足が速くなりました。長距離走が得意になりました。

【選手】体力がよくなりました。筋力がよくなりました。

【監督】入団したときはおと

なしいですが、だんだんと笑ったり、泣いたりして表現できるようになりますね。

監督「子どもたちの思いを とげさせたいと努力する」

監督のスポーツ少年団での方針は何ですか。

【監督】子どもたちが好きです。縦のつながりで子どもたちがどのようになるか。子どもたちと一緒に成長していければと思っています。自分がしてきたことを教えたいと思います。

保護者に自分の教え子がいます。指導をしていてよかったと思います。勝負だけにこだわってはいません。

バレーボールを通じて監督自身も楽しんでいくということですね。

【監督】乗り越えていく子どもは必ずいます。見守ってあげるひとがいなければ経験もできません。

友だちと一緒にするためには、自分だけが違っていても世の中を渡っていけないことも覚えていきます。そのことは勝ち負けよりもうれしいことですね。30年経っていますが、そのような子どもの成長が楽しみです。



竹口監督

何が思いに残っていますか。

【監督】子どもたちが大きくなったときに、「覚えておられますか？」と声をかけられることがうれしいです。

中国大会に5回か6回、全国大会にも出場しましたが、一番にはなれないですね。勝負にこだわってはいませんが、勝ちを望まないのは子どもたちもつまらないと思うので、新チームになったときに、全国をめざすか聞きます。めざすと言えは、がんばろうから始まります。するからには勝ちたい気持ちもあります。とげさせようと努力もします。子どもたちの思いを大切にしたいですし、やはり勝ちたいと思っています。

現状はどうですか。

【監督】人数が減り、同じ小学校だけではできなくなりました。移動がありますが、それでもほしいという子どもたちが集まっています。だから練習は、平日は少なくとも、土・日曜にしています。

町への要望はありますか。

【監督】町の補助金や指導資格の更新など町がしてくれていることもありますが、青少年やスポーツのためにお金が使われていないと思います。

スポーツを通じて、子どもたちが元気になれば学校も休まなくなります。医療費も減ります。このような団体にもつとお金を使ってほしいです。ボールの購入や合宿などのほとんどが保護者の実費負担です。中国大会へ出場した際の半額程度の助成も今はありません。

議会にもこのようなどころに目を向けてくれる人がいてほしいですね。

取材を終えて

練習はきびしくても、子どもたちは監督についていく、そして、保護者は監督を信頼し、協力的です。

監督と子ども・保護者の間に、良好な人間関係が築かれています。練習風景や保護者の話から、それを実感しました。

2代にわたって監督のお世話になっている親子もいます。バレーボールや子どもが好きとはいえ、長年のボランティア活動には敬服します。

スポーツ少年団に関するお問い合わせは、大山町教育委員会社会教育課まで

☎ 0859-54-5212 ☎ 0859-54-5217